



令和8年5月16日

川口市保健所

麻しん（はしか）患者が発生しました

令和8年5月15日、市内医療機関から川口市保健所に麻しん患者の届出（臨床診断例）があり、検査により麻しんと確定しました。

行動調査を実施した結果、以下の施設を利用していることが判明したことから、感染の可能性のある時間帯に当該施設を利用された方で、麻しんを疑う症状（高熱・発疹・咳・鼻水・目の充血等）が現れた場合は、事前に居住地を所管する保健所に電話連絡の上、指示に従い医療機関を受診してください（特にワクチン未接種の方についてはご注意ください）。

また、受診の際は、感染拡大防止の観点から、公共交通機関の利用は避けてください。

【患者の概要】

川口市在住、30代、男性
発症年月日：令和8年5月11日
症状：発熱、咳、発疹
海外渡航歴：なし
麻しんり患歴：不明
麻しん予防接種歴：不明

【麻しん患者が利用した施設】

利用時間帯 (健康観察期間)	施設名	所在地
令和8年5月11日(月) 6:00~6:50頃 (令和8年6月1日(月)まで)	JR川口駅～(JR京浜東北線)～JR西日暮里駅 東京メトロ西日暮里駅～(東京メトロ千代田線) ～東京メトロ大手町駅 東京メトロ大手町駅～(東京メトロ半蔵門線) ～東京メトロ神保町駅	

利用時間帯 (健康観察期間)	施設名	所在地
令和8年5月11日(月) 17:40~18:30頃 (令和8年6月1日(月)まで)	東京メトロ神保町駅～(東京メトロ半蔵門線) ～東京メトロ大手町駅 東京メトロ大手町駅～(東京メトロ千代田線) ～東京メトロ西日暮里駅 JR西日暮里駅～(JR京浜東北線)～JR川口駅	
令和8年5月14日(木) 6:00~6:50頃 (令和8年6月4日(木)まで)	JR川口駅～(JR京浜東北線)～JR西日暮里駅 東京メトロ西日暮里駅～(東京メトロ千代田線) ～東京メトロ大手町駅 東京メトロ大手町駅～(東京メトロ半蔵門線) ～東京メトロ神保町駅	
令和8年5月14日(木) 17:40~18:30頃 (令和8年6月4日(木)まで)	東京メトロ神保町駅～(東京メトロ半蔵門線) ～東京メトロ大手町駅 東京メトロ大手町駅～(東京メトロ千代田線) ～東京メトロ西日暮里駅 JR西日暮里駅～(JR京浜東北線)～JR川口駅	
令和8年5月15日(金) 10:40~10:50頃 (令和8年6月5日(金)まで)	セブン-イレブン川口末広2丁目店 (末広2-4-13)	

※ 施設へのお問い合わせは、ご遠慮くださいますようお願いいたします。

※ 麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下とされています。現時点において麻しん患者が利用した施設を利用されても心配はありません。

【麻しんの症状等】

- ・ 麻しんの潜伏期間は、通常10～12日間(最短5日間～最大21日間)
- ・ 麻しん患者と接触した場合には、接触後21日間、注意が必要です。
- ・ 麻しんに感染すると、約10日後に38℃程度の発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が2～4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発疹が出現します。

【注意喚起】

- ・ 現在、全国で麻しんが増えています。帰国後に麻しんと診断された報告例も増えています。流行地へ渡航を計画している方は、渡航先でどのような感染症が流行しているか確認するとともに、自身のり患歴や予防接種歴を確認し、抗体検査や予防接種を受けることをご検討ください。
- ・ 旅行から帰国後、体調不良がある場合には速やかに医療機関を受診し、「いつ、どこへ渡航し、どのような症状が出ているか」を伝え、医師の指示に従ってください。
- ・ 麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）の定期接種（1歳と小学校入学前）がお済みでない方は、接種をご検討ください。

患者及び患者家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から、本人等が特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いいたします。

【参考】

麻しん(はしか)について

1 症状

- ・ 感染すると通常10日から12日後に38℃前後の発熱、咳、鼻汁、くしゃみ、結膜充血など風邪のような症状が約2日から4日間続き、解熱後、再び39℃以上の高熱と発しん（耳の後ろや首あたりから、身体、手足へと広がる）が出現します。
- ・ 肺炎、中耳炎や脳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われており、死亡する割合も、先進国であっても1,000人に1人と言われています。

2 感染経路

- ・ 麻しんは「はしか」とも呼ばれ、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症（急性熱性発疹性疾患）です。
- ・ 麻しんウイルスの主たる感染経路は空気感染で、その感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症すると言われています。
- ・ 発症した人が周囲に感染させる期間（感染可能期間）は、症状が出現する1日前から解熱後3日間まで（全経過を通じて発熱がみられなかった場合、発しん出現後5日間まで）と言われています。

3 潜伏期間

約10日～12日間（最長21日間程度になる場合もあります。）

4 治療

特異的な根治療法はなく、症状を和らげる治療（対症療法）を行う。

5 予防

- ・ 麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみでは十分に予防できません。
- ・ 麻しんの予防には予防接種が最も有効です。2回の定期接種を必ず受けましょう。
- ・ 麻しんを発症した場合、学校や職場等で感染を拡大させる恐れがあるため、母子手帳などで予防接種歴を確認し、定期予防接種を2回受けていない方や予防接種歴が不明な方は、かかりつけ医などに相談の上、接種を検討しましょう。

6 市内の発生状況(麻しん届出数)

年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
川口市	0	8	0	0	0	0	0	2	14
埼玉県	16	35	0	1	0	0	8	13	36
全国	279	744	10	6	6	28	45	265	462

※ 川口市の2018年は4月1日～12月31日、2026年は1月1日～5月15日の届出数

※ 埼玉県の2026年は、県の感染症発生動向調査 第19週（5月4日～5月10日）までの累積速報値

※ 全国の2026年は、国の感染症発生動向調査 第18週（4月27日～5月3日）までの累積速報値